

事務事業評価資料

施策名	安全・安心な社会づくり（疾病対策等の推進）		所管部局課名	健康福祉部健康局疾病対策課・薬務課					
事業名	新型インフルエンザ対策の推進		担当者電話番号	疾病対策課感染症係 078-362-3264 薬務課薬事調整係 078-362-3268					
事業目的	新型インフルエンザの大流行（パンデミック）に備え、新型インフルエンザ対策計画に基づいた対策を推進し、県民の健康被害を最小限にとどめ、社会機能の維持を図る。								
事業内容	圏域事業（普及啓発講演会の実施等） 全県事業（必要資機材の整備、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄、医療体制の充実）			事業開始年度	平成21年度				
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(555,566 千円) 555,566 千円		(0 千円) 0 千円		(485,632 千円) 578,177 千円			
	人件費	891 千円	従事人員 0.1人	0 千円	従事人員 0.0人	13,376 千円 従事人員 1.6人			
	総コスト（+）	556,457 千円	従事人員 0.1人	0 千円	従事人員 0.0人	591,553 千円 従事人員 1.6人			
事業の目標	正しい知識の普及啓発			[目標設定理由]新型インフルエンザ発生時の適切な対応・正しい知識を普及啓発し、危機意識を共有する必要がある。					
	必要資機材の整備等、医療体制の充実（サーモグラフィ39台、人工呼吸器100台、個人防護具33,000セット、リアルタイムPCRの1台追加配備等）			[目標設定理由]新型インフルエンザ発生時に、迅速かつ適切な医療を提供するため、新型インフルエンザ対策計画に基づき必要資機材の整備を早急に行う。					
	抗インフルエンザウイルス薬（タミフル、リレンザ）の備蓄			[目標設定理由]新型インフルエンザ発生に備え、本県の備蓄目標量に向け追加備蓄する必要がある。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率（%）		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	新型インフルエンザ対策普及啓発講演会の実施	2回	21年度	-	-	2回 (210 千円)	-	-	100.0%
	サーモグラフィの配備数（39専用外来医療機関）	39台	24年度	-	-	10台 (1,680 千円)	-	-	25.6%
	人工呼吸器の整備数（入院医療機関）	100台	21年度	-	50台 (2,160 千円)	50台 (2,160 千円)	-	50.0%	100.0%
	タミフル備蓄量（累計）	1,041,300人分	23年度	458,000人分 (2 千円)	458,000人分 (0 千円)	603,800人分 (2 千円)	44.0%	44.0%	58.0%
	リレンザ備蓄量（累計）	58,200人分	23年度	-	-	14,600人分 (3 千円)	-	-	25.1%
評価結果	必要性	・新型インフルエンザの大流行に備えて、国及び市町、医療機関等と連携しながら、正しい知識の普及啓発や地域の初動体制の構築、医療体制の充実を図り、早期に、県民の安全・安心対策を推進する必要がある。							
	有効性	・新型インフルエンザの大流行に備えて、新型インフルエンザ患者入院医療機関に対し人工呼吸器の整備や抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を進めており、医療体制の充実について着実に成果があがっている。							
	効率性	・人工呼吸器の整備に当たっては各医療機関の共同購入などの工夫を行い、指標1単位あたりのコスト低減を図っている。 ・タミフルの購入価格は、年度内は全国的に同一価格であり、指標1単位あたりのコストは適切である。							
	民間・市町との役割分担	・国や県の新型インフルエンザ対策行動計画や「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において県の役割が規定されており、広域的、専門的な立場からも県が実施すべき業務である。							
	受益と負担の適正化	・全ての県民が新型インフルエンザに罹患する可能性があり、事業の成果は県民全てに適正に還元される。							
方向性	新規	（拡充）	（抗インフルエンザウイルス薬備蓄）	継続	実施手法の見直し				
	廃止	縮小	統合	凍結（休止）	延長	終期設定			
実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善 その他			
	新型インフルエンザのパンデミック（大流行）時に被害を最小限にし、社会機能を維持するため、「新型インフルエンザ対策計画」に基づき、早急に対策を実施する。 また、抗インフルエンザウイルス薬を21年度から3ヶ年で追加購入・備蓄する。 〔タミフル：既備蓄分458,000人分 追加備蓄583,300人分 計1,041,300人分〕 〔リレンザ：既備蓄分なし 追加備蓄 58,200人分 計 58,200人分〕								